

## 文化・芸術

### 〈名画の扉〉

大川美術館から



「原爆の図第一部幽霊」(再制作版、部分)

1950、51年(後年に加筆)  
墨、紙 (広島市現代美術館蔵)

丸木位里・俊

昨年10月から開催し、の規制が敷かれていた  
てきました。広島市現代 1950年代初頭より  
美術館所蔵作品を中心 日本全国を巡回し、人  
とした企画展は、2会 々に大きな衝撃をあ  
期にわたる構成で、戦 えました。この巡回展  
時を生きた画家たちに の最初期にあたる51年  
注目しています。Pa 2月には、群馬県内に  
rt1では「鬚光と同 おいても、前橋市に次  
時代の仲間たち」をご いで桐生市で公開され  
覧いただきました。こ ました。今年、県内の  
の16日からは、Pa 公開から70年目にあ  
t2「70年目の原爆の ります。

図」展が始まります。

本展では、この全国

日本画家丸木位里 巡回展中に制作され桐  
(1901〜95年)と、 生で公開された「原爆  
妻で洋画家の俊(19 の図」初期3部作再制  
12〜2000年) 作版から「第一部 幽  
は、原爆投下後の広島 霊」を、人物デッサンや  
を訪れ、自らの体験と 資料とともにご覧いた  
家族などから聞いた話 だきます。(小此木  
をもとにして「原爆の

◇

図」を描きはじめまし ※「広島市現代美術  
た。「原爆の図」は、夫 館所蔵作品を中心にP  
妻が生涯をかけた共同 art2 70年目の原  
制作となります。 爆の図」展は、1月16

「原爆の図」は、報道 日から3月14日まで。